

若き代表の今後の活躍に期待！！

（岡山市 株式会社夢ファーム）

農業

林業

水産業

関連産業



（代表取締役に就任した奥山さん）



自社の基地局（自作）

自動操舵を取り付けたトラクター

PMSで管理しているほ場画像

（活用しているスマート技術）

【経営規模】

- ◆ 経営面積：60ha（水稲60ha 裏作として
大麦・小麦各3ha）
- ◆ 主な業務：米の生産・販売、農作業受託、
堆肥の販売
- ◆ 労働力：2名

【取組の経緯】

2008年、先代の父が、「株式会社夢ファーム」設立。
2023年3月、父に代わり代表取締役に就任。
ICT、スマート農機、乾田直播栽培を導入し、少ない労働
力（2名）で大規模経営を行う。

【取組の概要】

◆ ICT（情報通信技術）の取組

PMS（作業計画・管理支援システム）を法人化した当時から活用し、栽培管理作業を見える化している。
農林水産省の先端モデル農業確立実証事業（26年）を活用し、PMSに別ソフトで管理していた経理機能
を組み込み、農作業管理と経理を一元化し経営スキルを向上させる。
改良したPMSにより、約550筆のほ場の作業内容（生産資材、作業時間、利用権設定等）を細分化してパ
ソコンに入力し、農作業管理、次年度の作付計画、各種申請手続きの省力化、情報の共有に役立てている。

◆ 基地局の活用

自作した基地局を社屋に設置し、位置情報の精度を高め、機械利用による省力化を図っている。
基地局からの送信方法は2種類あり、補正情報を移動局に伝える無線方式は5km程度の距離までしか受信
できないが、自社の基地局はインターネット方式を採用しており、1つの基地局で半径60kmまでカバーできる。
トラクターの自動操舵システムを活用することで、作業の省力化を実現。

◆ ほ場の大区画化

近隣農家のほ場管理を積極的に引き受け、農地の荒廃を防ぐとともに、地権者の了解を得ながら畦畔を
除去し、集約整地したほ場の高低をレーザーレベラーにより均平にするなど、大区画化に取り組み、大型
機械の作業効率を高めている。

◆ 乾田直播栽培

乾田直播栽培は、水稲作付面積の4割程度で行い、省力化に努めている。

【今後の展望】

- ◆ 現在行っているPMSでのデータ管理、農業機械の自動操舵システムに加え、防除・施肥等の効率化が期
待できるドローンの導入を検討していきたい。

【お問い合わせ先】 株式会社夢ファーム

岡山市東区西大寺五明54 TEL:086-943-4177